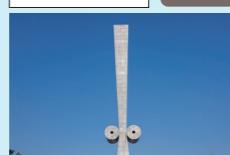


て がら ち く 18 手柄地区

い　れいとう 感靈塔	い 行つた日	etc
たいへいようせんぜんこくせんさいと　しくばく　しほつしゃ　い　れいとう (太平洋戦全国戦災都市空爆死没者慰靈塔)		
しょうわ 昭和31年(1956)10月に建てられました。も う二度と戦争をくり返さない、という誓いをこ めて、剣をさかさまに突き立てた形をしていま す。	た う二度と戦争をくり返さない、という誓いをこ つるぎ　つ　た　がたち めで、剣をさかさまに突き立てた形をしていま す。	

<p>おおとしじんじゃ ひがしのぶえ 大年神社(東延末)</p> <p>のぶえ みつ まち まも がみ じんじゃ 延末の三つの町の守り神をまつっている神社です。ま</p> <p>おおとしおおかみ きみとおおかみ のぶえ つられているのは大年大神や君田大神などです。延末 むら おお のうか わかえもん いま ほしゃ 村の大きな農家たった三輪轟右衛門によって、今の場所 うつ けいだい まいじ ほじわ へ移されました。境内には、明治44年(1911)から昭和 11年(1936)に、手柄村(今の手柄小学校区)の第9代 せんぢょう たながいりう ひ 村長をつとめた田中泰造をたたえる碑があります。</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 5px;">行 っ た 日</td><td style="padding: 5px;"></td></tr> </table>	行 っ た 日	
行 っ た 日			

かめやまほんとくじ
亀山本徳寺
れんにょしうん ひら でら かめやま こぼう
蓮如上人が開いたお寺です。亀山の「御坊さ
ん」という名前で親しまれています。当時は
あが てんしゅう はしば
英賀にありましたが、天正8年(1580)に羽柴
ひよし あがせあとひよし さんびっく
秀吉が英賀を攻めた後に、秀吉から三百石の
てらりうちきふ てんしゅう
お寺の領地を寄附されて、天正10年(1582)
かめやま つづ
に亀山に移されました。



きゅうしきまこうせんあと
旧飾磨港線跡

しかまこうせん
「飾磨港線」とよばれていましたが、正式には播
たんせん いちふ めいじ
但線の一部でした。明治28年(1895)4月17日
かいつよに
開業し、亀山駅は明治30年(1897)12月1日
かいつよ
に開業しました。この路線には、姫路駅と
かめやえき しがまえき しかまこえき
姫路駅、飾磨駅、飾磨港駅という駅がありまし
ょうわ
た。昭和61年(1986)10月31日に廃線になり
ました。

せいしき ばん
行った日

てがらやま
手柄山
たか やく
高さは約50mあります。三和山ともいいます。
だいえいねんかん
大永年間(1521~28)には、三輪法泉という
人が手柄山に塔を建てました。江戸時代に
がたか じ す
は、刀鍛冶が住んでいて、刀をつくっていました。
てがらやま うししゃ ゆうめい
た。手柄山氏繁が有名です。「播磨國刀匠顕彰
ひ
碑」があります。

ともだじんじゃ
鞆田神社
やす だ むら まも がみ
安田の村の守り神です。まつられているのは
いちき しまりめみこと むがし とも だ がわ はんらん とき
市杵島姫命です。昔、鞆田川が氾濫した時に、
くわらばむら になががは なが こしたい
桑原村(西中島)から流れついた御神体をお
まつりしたといわれています。

ひめじちゅうおうおろしうりしじょう
姫路中央卸売市場

ひめじし
昭和32年(1957)10月20日に、姫路市が
せんごく
はんめ
かうおうあらしうりしじょう
ひら
全国で15番目の中央卸売市場として開きま
した。敷地の面積は5万8,400m²あります。

etc

